

「家庭の教育力」について考えてみませんか？

東京都「こころの東京革命」推進会議では、大人が子どもに社会の基本的なルールを伝えていくための標語「こころの東京ルール～大人が子どもの手本になろう～」を提案しています。

- 1 毎日きちんとあいさつさせよう
- 2 善いことは褒め、悪いことは叱ろう
- 3 ねだる子どもにがまんをさせよう
- 4 先人や目上の人を敬う心を育てよう
- 5 体験の中で子どもを鍛えよう



今回のアンケートの結果では、小金井市内の子どもたちの大部分は、年代に関係なく、「あいさつ」や「目上の人を大切にすること」については、非常によくできており、その認識は子どもたちにも保護者にも共有されています。また、家族や先生以外の「叱ったり褒めたりしてくれる大人」の存在も、アンケートの回答から多く確認できました。

一方で、「毎朝、自分で起きる」や「お手伝い」などの継続的な習慣については、子どもたちは「できている」と思っているが、実はできていない子どもも多い、という実態が浮かび上がっています。

また「帰宅時間のルール」、「インターネット利用のルール」や「我慢や感情のコントロール」に対する認識は、子どもたち自身の「安全」や将来の社会生活において重要な内容ですが、保護者の期待ほど子どもたちに認識がない、身につけていない、という結果が散見されます。「お子さんの話への感想を話していますか」の質問では、保護者の大半が、ちゃんと感想を話していると思っていますが、子どもたちの回答では、半分程度しかちゃんと感想を話されていると認識されていません。

子どもと話しながら、各家庭で我が家のルールをきちんと決め、「善いことは褒め、悪いことは叱る」ことが、子どもたちの安全や成長に必要なではないでしょうか。

小金井市では、子どもの権利を保障し、子どもの健やかな成長を願って、「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「ゆたかに育つ権利」「意見を表明する権利」「支援を受ける権利」などを、家庭・育ち学ぶ施設・地域で保障することを求めた「小金井市子どもの権利に関する条例」を制定しています。

「家庭の教育力」とはなにか、「こころの東京ルール～大人が子どもの手本になろう～」も参考に、一緒に考えてみませんか。

子どもと家庭のことについて相談したくなら、
小金井市 (月～土 9:00～17:00)
子ども家庭支援センター ☎042-321-3146 まで

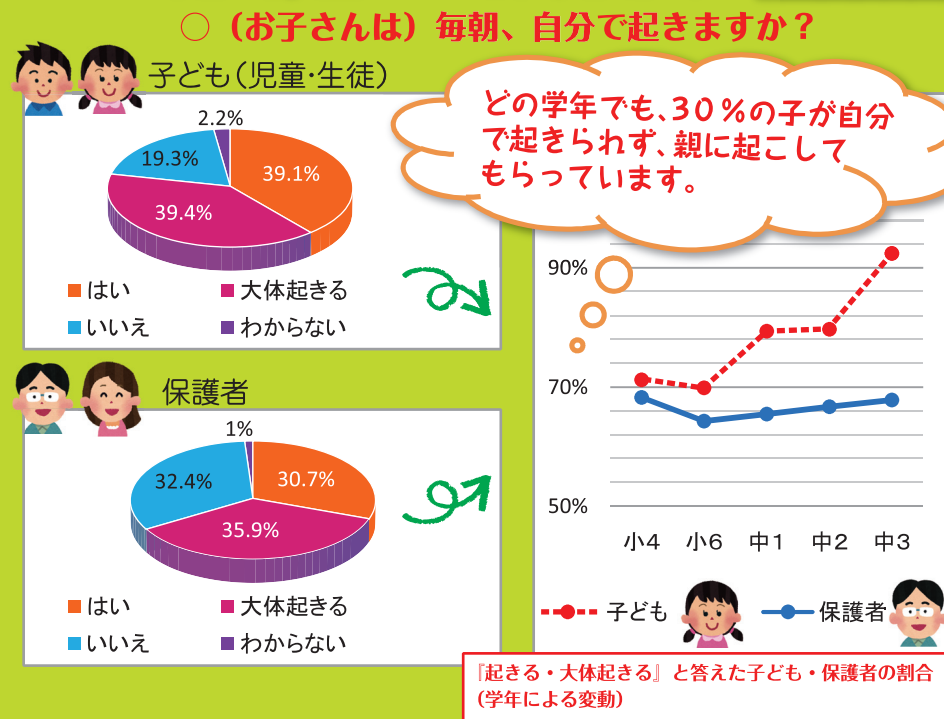
小金井市青少年問題協議会 (平成27年6月) 市ホームページ携帯版

小金井市ホームページ <http://www.city.koganei.lg.jp/>

審議会の情報→審議会等の一覧→福祉・健康・医療に関する審議会 から検索できます。

東京都「こころの東京革命」については、 <http://www.kokoro-tokyo.jp/>

大切です ご家庭の教育力



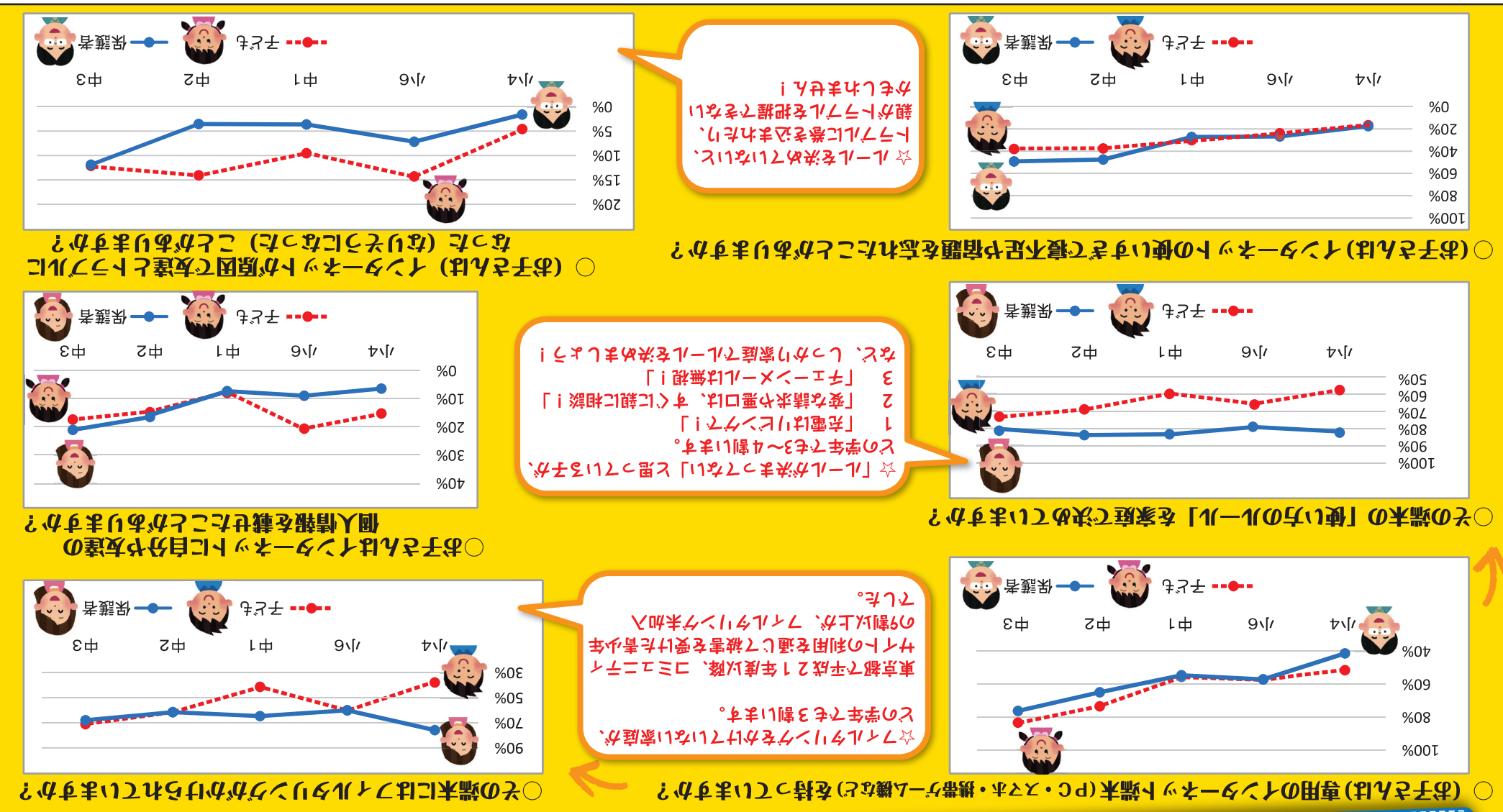
※小金井市の小・中学校の児童・生徒とその保護者へのアンケートから

近年、少子高齢化や核家族化の進展により、家庭・地域の教育力が低下し、社会における基本的なルールが守れない子ども、さらには大人までもが増加している、といわれています。小金井市の子どもたちを取り巻く「家庭の教育力」はどうか、子どもとその保護者はどう感じているのか。その実態を探るべく、アンケート調査を実施しました。

<アンケート調査方法>
 ○実施時期=平成26年7月
 ○対象=市内小学校2校、中学校2校(小4、小6、中学1～3年生)で1学級ずつ抽出
 ○回答数=小学校(子ども:129人、保護者119人)
 中学校(子ども:193人、保護者171人)

この冊子は再生紙を使用しています。

○「家庭の教育力」が期待される内容のうち、「子どものインターネットの利用」に関する「子ども」と「保護者」の認識を調べたものです。



子どものインターネット利用と家庭での教育について

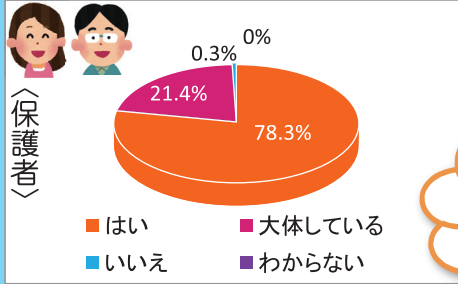
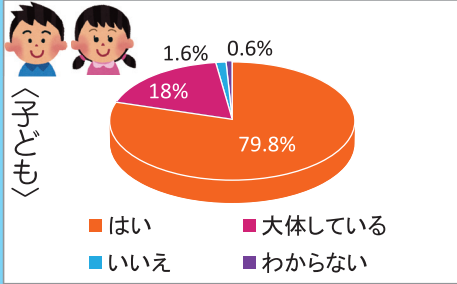
※裏面に「家庭の教育力」についてくがあります

家庭の教育力について

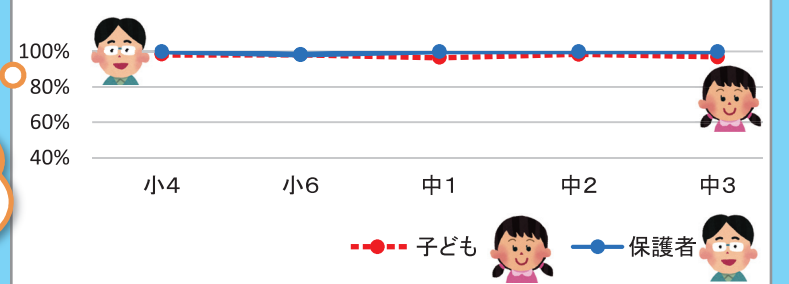
※裏面に「子どものインターネット利用と家庭での教育について」があります。

○ (お子さんは) おうちで「あいさつ」をしていますか？

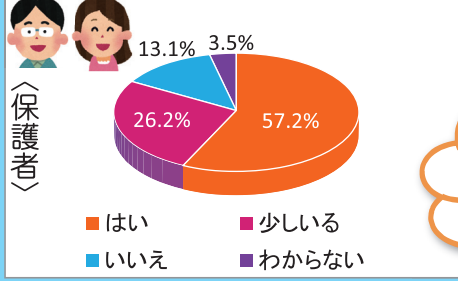
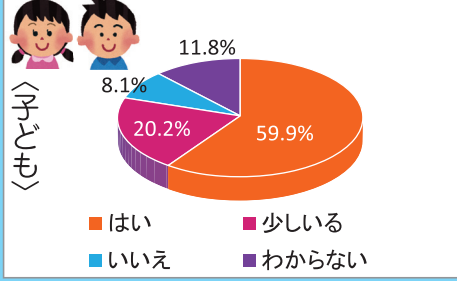
肯定的回答 (はい、大体している、等) の子ども (児童・生徒) ・保護者の割合 (学年による変動)



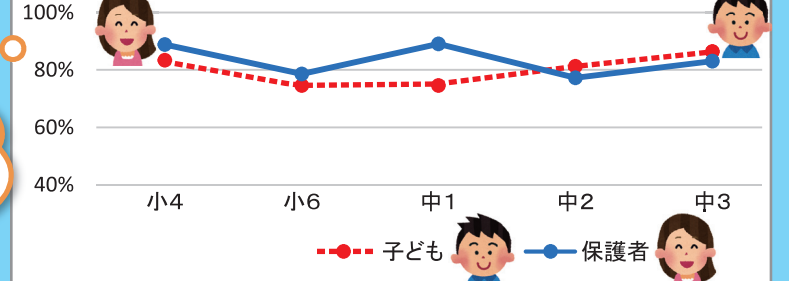
「あいさつ」はコミュニケーションの基本。ほとんどの家庭でできています！



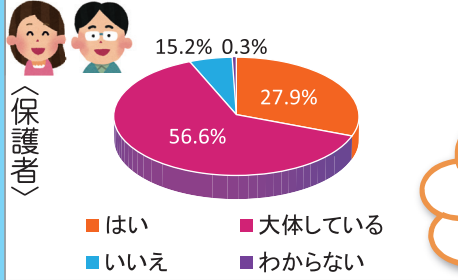
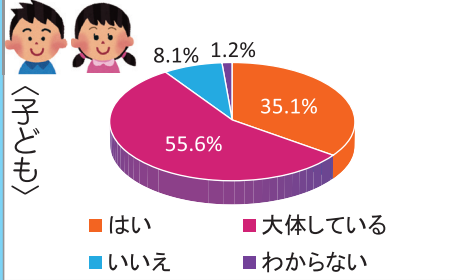
○ (お子さんには) 家族や先生以外で叱ったりほめたりしてくれる大人がいますか？



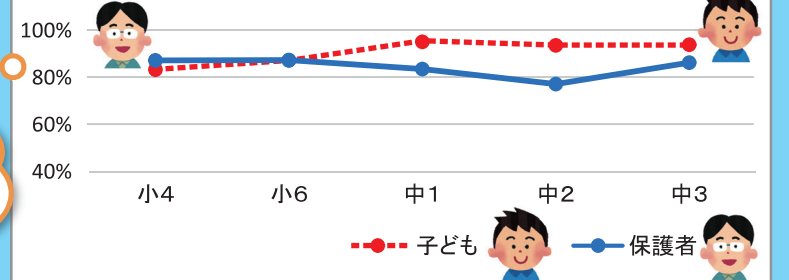
お子さんにとって「他人の子どもでも叱ったりほめたりしてくれる」大人が重要です。



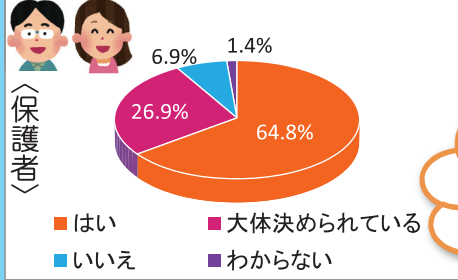
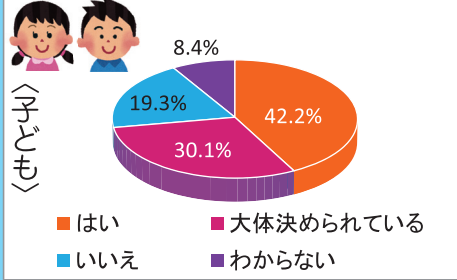
○ (お子さんは) お手伝いをしますか？



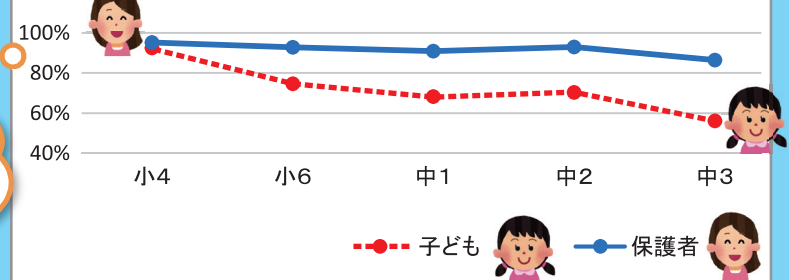
「お手伝い」などの我が家のルールについて、お子さんと話しませんか？



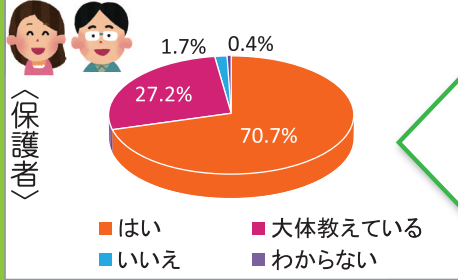
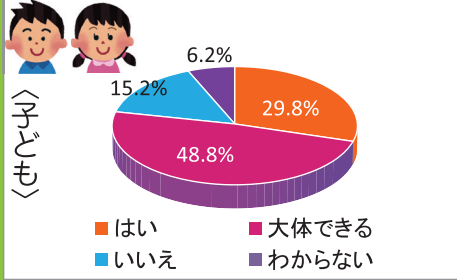
○ (お子さんの) 帰宅時間は決められていますか？



高学年になるほど、帰宅時間の認識が低くなるようです。

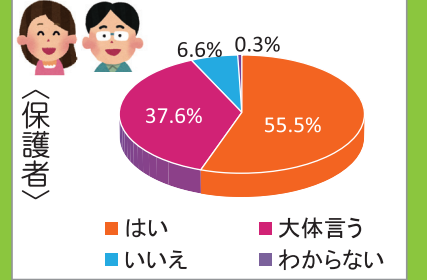
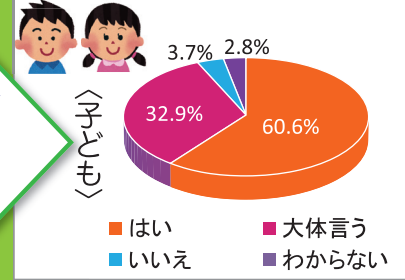


○ カッとなったときに、それを我慢できますか？ / お子さんに我慢や感情のコントロールを教えていますか？

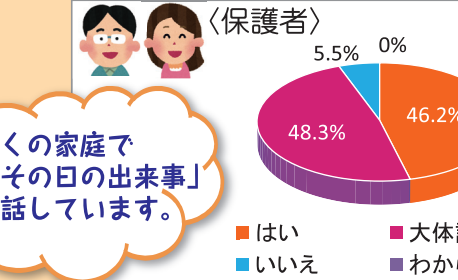
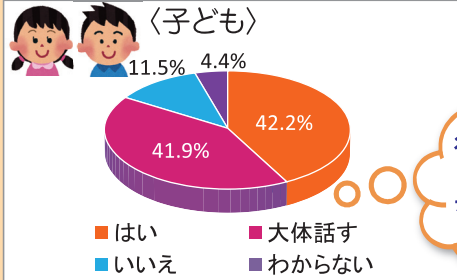


我慢や感情のコントロールができない子どももありますが、素直に謝ることはできるので、成長の過程であることがうかがえます。

○ (お子さんは) 「ごめんさい」を声に出して言っていますか？

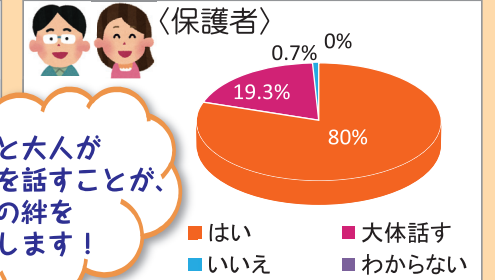
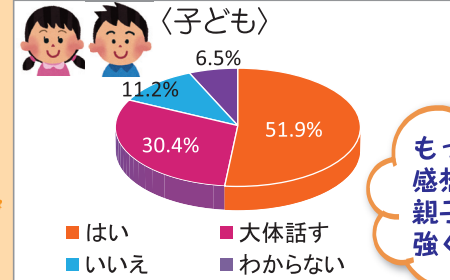


○ おうちの人にその日の出来事を話しますか？ / お子さんはその日の出来事を話しますか？



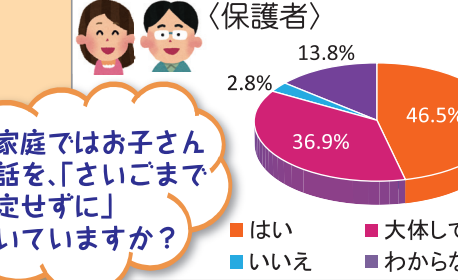
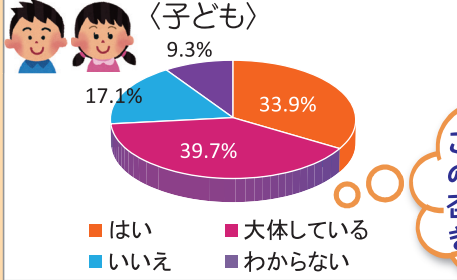
多くの家庭で「その日の出来事」を話しています。

○ おうち的人是感想を話してくれますか？ / お子さんの話への感想を話していますか？



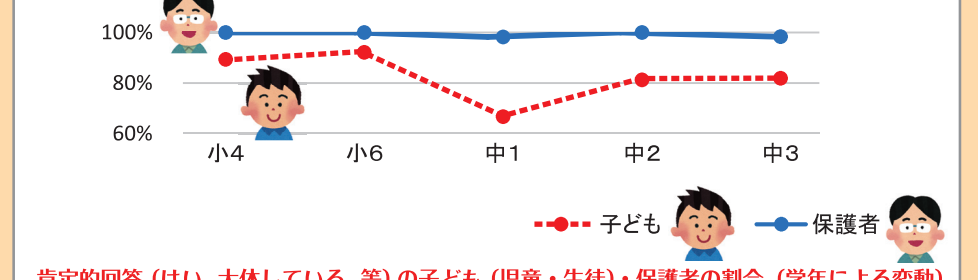
もっと大人が感想を話すことが、親子の絆を強くします！

○ (お子さんは) 悩みがあるとき誰かに相談していますか？

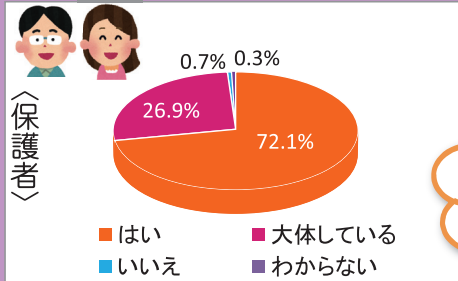
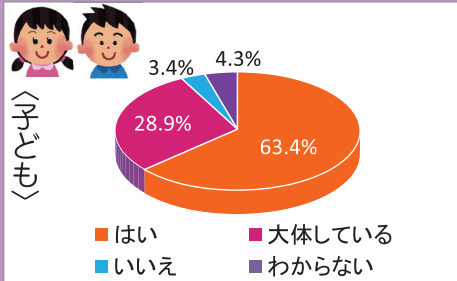


ご家庭ではお子さんの話を、「さいごまで否定せずに」聞いていますか？

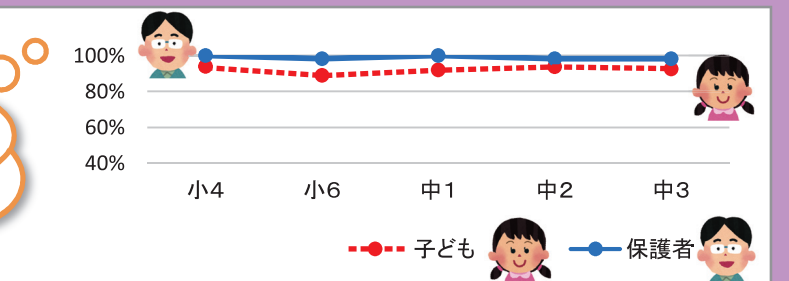
肯定的回答 (はい、大体している、等) の子ども (児童・生徒) ・保護者の割合 (学年による変動)



○ 目上の人を大切にしようと思っていますか？ / (保護者は) お子さんの前で目上の人を大切に示す姿勢を示していますか？



日ごろの保護者や地域の大人の姿勢に、子どもは影響されます！



○ 「家庭の教育力」が期待される内容のうち、社会の「基本的なルール」に関する「子ども」と「保護者」の認識を調べたものです。

「あいさつ」や「目上の人への姿勢」など、その場ですぐに行える、目に見える部分については、子どもと保護者の認識に大きな差はありませんが、「毎朝、自分で起きる」、「帰宅時間のルール」や「我慢」など継続的で、目に見えない部分については、保護者の期待するほど子どもはルールを身につけられていません。「お手伝い」は、中学生に入ると子どもの自己評価が上昇しているにもかかわらず、保護者の評価が低下しており、保護者の期待する中身が子どもに伝わっていないと考えられます。